

授業研究部(中学校)6月例会

6月14日(水)に昭和橋中学校で、授業研究部(中学校)6月例会を開催しました。

今回の例会では沢上中学校の 小川 拓海 先生を講師にお迎えし、書写の授業についてお話をいただきました。

小川先生からは、「習字」「書写」「書道」の違いにや、「書写の評価」についてお話をいただきました。

次に、授業の流れの1例を挙げていただきました。デジタル教科書、評価のポイント、授業の中での動画の見せ方などについて説明してくださいました。特に、右の指導案の「4」にある『教材文字(基準文字)とためし書きを比較させることによって、生徒自身に目標を設定させる』ことが、主体的な学びにつながるのではとご指導いただきました。

その後、下の写真のように、参加者全員で実際に文字を書いてみました。今回文字を書くのに使用しているのは水書用のマットと水書用の筆です。水書用のマットは、一度文字を書いても、しばらくすると乾いて文字が消えるので、何度も文字を書くことができます。

また、水書用の筆は、墨をつけていなければ通常の筆でも代用ができます。



第3学年〇組 国語科学習指導案

令和5年6月14日(水) 第〇時限 指導者 小川 拓海

- 1 単元 行書を深めよう
- 2 指導計画(2時間完了)
- (1) 「点画の変化と連続」「筆順」について理解しよう・・・1時間(木時1/2)
- (2) 学習したことを生かして文字を書こう・・・1時間
- 3 本時の指導
 - (1) 目標
 - 「点画の変化と連続」、次の文字への「筆順」を理解して、「創造」を毛筆で書くことができるようにする。
 - (2) 準備
 - 教師：ワークシート、指導者用タブレット、プロジェクター、スクリーン
 - 生徒：書写道具、ぞうきん、新聞紙、ペットボトル
 - (3) 指導過程

時間	学習活動	指導上の留意点
0	準備を行う	○ 筆、半紙などを準備させる。筆は用さないうちに濡らす。また、筆を洗うためのペットボトルに水を入れておくように指示する。
2分	1 既習事項である行書の「点画の変化と連続」「筆順」について確認する。	○ 第2学年で学習した行書の「和」を想起させ、「点画の変化と連続」「筆順」について確認する。
1分	2 学習のめあてを知る。	○ 学習したことを発言させながら、「点画の変化と連続」「筆順」について確認した上で、本時のめあてを提示する。
3分	3 学習のめあて：「点画の変化と連続」、次の文字への「筆順」を理解して書こう。	
10分	4 教材文字(基準文字)とためし書きを比較する。 (1) 「点画の変化と連続」「筆順」のポイントを理解する。	○ 墨は必要な分だけ出すようにさせる。 ○ 教科書など何も見ずに「創造」を毛筆で1枚だけ書くように指示する。 ○ 全員が書き終わり、筆が濡れていることを確認し、ワークシートを配付する。 ○ ワークシートの文字の中で「点画の変化と連続」「筆順」が書かれているところを問いつけ、それらの部分に色ペンなどでポイントを記入させる。
15分	(2) 自己修正を行い、目標を設定する。	○ ワークシートと試し書きを比較し、練習で気をつけるポイントを話し書きに直接書き込むことで、練習でどのような点に気を付けて取り組むのか目標を設定させる。
7分	5 「創造」を毛筆で練習する。	○ 必要な分だけ筆を出すように指示し、練習に取り組ませる。 ○ 練習の後に、ポイントを基に、仲間同士で発言し合うため、練習の中で1枚は仕上げよう伝える。
7分	6 相互修正を行い、まとめ書きの見直しをもつ。	○ ワークシートのポイントや自己修正で書き込んだことを基に、書いた文字について、ペアで助言し合うように伝える。
7分	7 「創造」を毛筆でまとめ書きする。	○ 再度、目標を確認させ、まとめ書きに取り組むように伝え、1枚提出させる。
3分	8 学習のまとめを行い、次時への見直しをもつ。	
2分	9 片付けを行う。	○ どのような点に気を付けて書いたかをワークシートに書かせ、次時の予告をする。 ○ 静かに片付けを行うように伝える。

授業研究部は、できるだけ、日ごろ先生方が感じている疑問や悩みを解決できる場でありたいと考えています。もし、授業研究部(中学校)で扱ってほしい教材や分野があれば下記までお知らせください。よろしくお祈いします。

○ 問い合わせ先：大森中学校 熊谷
 Tel:798-2900 FAX:799-0465 E-mail:kumagai13@nagoya-c.ed.jp
 ※ スズキ校務のメッセージでも構いません

○ 次回例会：9月13日(水) 19:00～ 昭和橋中学校